

# トップレベルの技術を証明

## I-NAIL-A ジェルネイル 技能検定試験

### 試験構成

ジェルネイル 3級 / 2級 / 1級

### 受験資格

義務教育修了者（未修了者は保護者の承諾書を提出）  
飛び級有り（3級の認定が無い場合でも2級 / 1級を受験できます）

### 認定基準

各級それぞれ実技試験と学科試験の合格で認定

### 受験料

3級11,000円(8,800円) / 2級13,200円(11,000円) / 1級16,500円(14,300円)

\*表記価格は全て税込となります。

\*( )は1年以内に再受験し、実技試験/学科試験のいずれかのみ受験の場合(実技試験の免除期間は1年以内とする。)

### 学科試験 | 時間30分マークシート方式

【合格基準】 出題 50 問（1 問 2 点）のうち 40 問以上正解（80 点以上）で合格とする。

【内 容】 ネイルの衛生学/人体のしくみ/ネイルとその異常/マニキュアリストの化学/ネイル概論/ネイルの技術

【参考テキスト】 『ネイル・プロフェッショナル』『ネイル・プロフェッショナルジェルネイル編』『検定試験対応例題集』

●受験者は筆記用具（鉛筆・消しゴム）を必ず持参すること。筆記用具を忘れた場合は失格となります。試験中の貸し借りは禁止。試験会場での貸し出しは行いません。

●ネイルスペシャリスト・ジェルネイル検定試験のいずれかの級で学科合格していれば他級の受験の際は免除となります。（免除期間の制限なし）

### 実技試験

3級  
60分

ネイルケア（事前に済ませておく）

テーブルセッティング / 10分  
\*同時にモデルチェックを行います。

プレパレーション / 10分 ▷ 審査

アプリケーション / 40分 ▷ 審査  
カラーコーティング(マット赤)

2級  
80分

ネイルケア（事前に済ませておく）

テーブルセッティング / 10分  
\*同時にモデルチェックを行います。

プレパレーション / 10分 ▷ 審査

アプリケーション① / 25分 ▷ 審査  
アーティフィシャルネイル(右手・指の指定無し)  
チップオーバーレイ 2本

アプリケーション② / 35分 ▷ 審査  
カラーコーティング(パールホワイト)

1級  
105分

テーブルセッティング / 10分  
\*同時にモデルチェックを行います。

ネイルケア(ウォーターケア)  
プレパレーション / 20分 ▷ 審査

アプリケーション① / 15分 ▷ 審査  
アーティフィシャルネイル(右手・指の指定無し)  
チップオーバーレイ 1本/スカルプチュア 2本(ジェル塗布まで)

アプリケーション② / 10分 ▷ 審査  
アプリケーション①の仕上げ

アプリケーション③ / 50分 ▷ 審査  
カラーコーティング(フレンチネイル)

【合格基準】 各級とも（80 点以上）で合格とする。

●ジェルネイルの特性を理解し、試験要項に記載された技術全てが手順どおり衛生的に行われ、時間内に終了していること。

●使用する器具・材料を正しく理解し、使用していること。

【内 容】 各級「各工程の詳細」に記載。

●受験者は、使用する器具/材料を必ず持参すること。忘れた場合は失格となります。試験会場での貸し出しは行いません。

# 注意事項①

**\*以下の事項が守られていない場合は失格または減点となります。**

## 試験全般に関する事項

- 受験者およびモデルが受付時間内に受付できなかった場合は、受験可能ですが、失格となります。
- 受験票を忘れた場合は運営上支障が無い限り受験可能ですが、失格となります。
- 不正行為（カンニング等）は失格となります。
  - 実技試験において、試験要項や手順等が記載されたものを試験中に見た場合。
  - 実技試験において、モデルが試験内容に関する指示や指導を行っていた場合。
  - 学科試験において、テキスト類や、他の受験者の解答を見ていた場合。
- 試験中、他の受験者に迷惑が及ぶ言動が見受けられた場合や、試験官の指示に従わなかった場合は失格とし、試験会場から出ていただきます。
- 実技試験において、各工程終了アナウンス後にモデルの手指および爪に触れたり技術を行った場合は失格となります。
- 試験中、受験者およびモデルは携帯電話等の音の鳴る機器類の電源は切ること。（時計、アラーム類については消音しておくこと。）
- 試験中、受験者およびモデルが離席する場合は、試験官の指示に従うこと。
  - 実技試験中に離席した場合は、手指消毒を行った後技術を再開してください。

## 実技試験に関する事項

### 受験者 / モデル共通事項

- 公衆衛生上不適切とみなされる皮膚への装飾（刺青、タトゥー、ボディアート等）が肘から先（指先まで）に露出しないように配慮すること。
- 肘から先（指先まで）に装飾品類（時計・アクセサリー等）を着用してないこと。

### 受験者に関する事項

- 白衣に準じた衛生的な白無地の上着を着用すること。
  - 技術に支障のあるフリルやリボン等の装飾が施されたものや、技術者として相応しくないとされる過度な露出のあるものは着用しないこと。
- 頭髮は清潔感のあるスタイルを心がけ、技術に影響しないようまとめること。受験者およびモデルの手指、器具 / 材料に触れないこと。
- 不織布マスクを着用すること。（モデルは任意）

### モデルに関する事項

- 手指および爪に施術を行えない疾患の疑いがある場合は失格となります。『ネイル・プロフェッショナル』参照。
- ネイルケアで除去するルーススキンが残っていること。 \*（1級のみ）
- ジェルやアクリル、ポリッシュが爪に残っていないこと。
- 原則としてナチュラルネイルであること。爪の亀裂や長さ不足については、以下の範囲内のリペアは可とする。
  - ※モデルにリペア等を施している場合（10本がナチュラルネイルでない場合）は、実技試験受付の際に申告すること。
  - モデルの爪に合うように施したジェルコーティング、チップオーバーレイ、スカルプチュアは3本まで可とする。
  - ジェルコーティング、チップオーバーレイ、スカルプチュアは試験で使用するジェルと同一ブランドのジェルで施しておくこと。
  - 使用するジェルの色はクリアのみ、ネイルチップの色はナチュラルのみとする。
  - ネイルグルー、レジンをういたリペアは本数を限定せずに可とする。
  - ラップ、アクリル等、ジェル以外の材料を用いたリペアは不可とする。
  - 上記範囲内のリペア以外に、ジェルやアクリル、ネイルポリッシュ等が爪に付着していないこと。

## 衛生に関する事項

- 技術全般
  - 技術者は、自分の手指や爪ではみ出したグルーやジェルなどのクリーンを行わないこと。
  - 技術者は、自分の手指や爪で器具類の汚れを拭くなどしないこと。
  - 試験中、作業エリア、サニタリーエリアは常に衛生的な状態を保つこと。（敷いたペーパータオルが汚れた場合は随時交換すること。）
- 器具 / 材料を落とした場合の処置
  - 器具 / 材料を落とした場合は、放置せずにペーパータオルで挟んで拾い破棄し、手指を消毒してから技術を再開すること。
  - 破棄できないものは器具用消毒液で消毒してからセッティング、使用すること。
- 材料をこぼした場合の処置
  - 放置せず、ペーパータオルで拭くなど直ちに処置し、手指消毒してから技術を再開すること。
  - テーブルを汚してしまった場合は、試験終了後に試験官に申し出ること。
- 出血が生じた場合の処置
  - 受験者、モデルに出血が生じた場合は放置せず、救急用具を用いて傷を消毒し、必要であれば止血する処置を行うこと。
  - 止血ができていないとみなされた場合は失格となります。
  - 出血に起因した器具 / 材料は消毒後、破棄またはセッティングすること。出血の処置後は、手指消毒をしてから技術を再開すること。
- 試験中に使用する器具 / 材料類の汚れの処置
  - 器具 / 材料の汚れは、衛生的に管理されたペーパータオル類で拭くこと。
  - 汚れを拭くペーパータオルは作業エリアに置くこと。（サニタリーエリアに置くことは不可。）
  - 汚れを拭くペーパータオルは必要な分のみ取り出し、衛生的に使用すること。

## 注意事項②

**\*以下の事項が守られていない場合は失格または減点となります。**

### ジェルに関する事項

#### 使用できるジェルについて

- 受験票に、使用するジェルとジェルネイル用ライトのブランドを記入しておくこと。
- 「ジェルブランド別対応商品一覧」に記載されたブランドのジェルのみ使用可。それ以外の使用は失格となります。  
「ジェルブランド別対応商品一覧」はI-NAIL-A ウェブサイトからPDFファイルでダウンロードできます。
- 使用するジェルは同一ブランドに限る。それ以外を使用した場合は失格となります。
- ジェルの容器の形状（コンテナ、刷毛付きボトル等）は問わないが、ブランドの容器のまま使用すること。  
容器の移し替えは失格となります。
- ミキシングしたジェル（自分で混ぜて作ったカラージェル）を使用した場合は失格となります。

#### ジェルの取り扱いについて

- 試験中、ジェルの温度調整をしないこと。
- 試験中、コンテナ容器の縁、刷毛付き容器のボトルネックは、汚れていない衛生的な状態を維持すること。

#### 使用できるジェルネイル用ライトについて

- 「ジェルブランド別対応商品一覧」に記載されたライトのみ使用可。それ以外の使用は失格となります。  
使用するジェルと同一ブランドのライトが望ましいが、異なるブランドのライトを使用しても可。  
ただし、「ジェルブランド別対応商品一覧」に記載されているライトに限る。

#### ジェルネイル用ライトの取り扱いについて

- 内側、外側ともに汚れていない衛生的なライトを使用し、試験中も衛生的な状態を維持すること。
- ライトはタオル、ペーパータオル等で覆わずにセッティング、使用すること。（アームレストとして使用しないこと。）
- 消音できるライトのタイマー音は消しておくこと。
- 電源がアダプタータイプのライトを使用する場合は、延長コードを持参すること。

#### ジェルブラシの取り扱いについて

- 試験中、ブラシの先が他の器具/材料に触れないよう、ダストがかからないよう、ライトに照射されないよう配慮し衛生的に取り扱うこと。
  - トレイに置く場合は、ブラシの先が他の器具/材料（エメリーボード類など）に触れないよう、セッティングする位置やキャップをつけるなどの配慮をすること。
  - サンタリーエリアに置く場合は、ブラシ置きを用いるなど、ブラシの先がペーパータオルに直接触れないようにすること。
  - 刷毛付きボトルのジェルを使用する場合、キャップ（刷毛）はボトルの中に戻すこと。  
ボトルに戻さない状態でサンタリーエリアやトレイ等に置かないこと。
- ブラシの汚れは、ワイプ類を用いて拭くこと。サンタリーエリア、作業エリアとして敷いたペーパータオルで拭かないこと。  
汚れが付着したワイプ類は放置せずに破棄し、新しいものを取り出し交換すること。

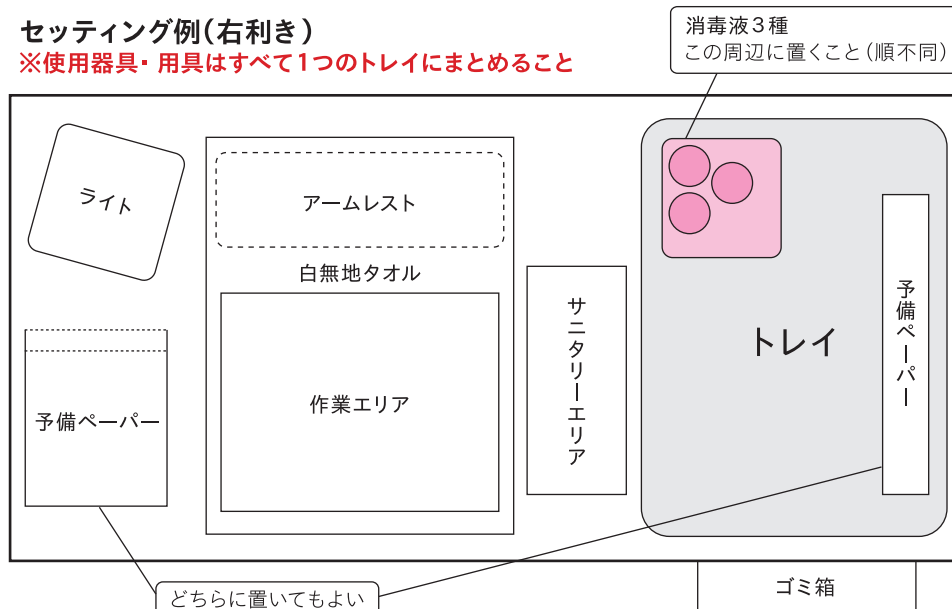
# テーブルセッティング例

(右利きの例)

下図に従ってテーブルセッティングを行って下さい。以下の事項が守れていない場合は減点となります。

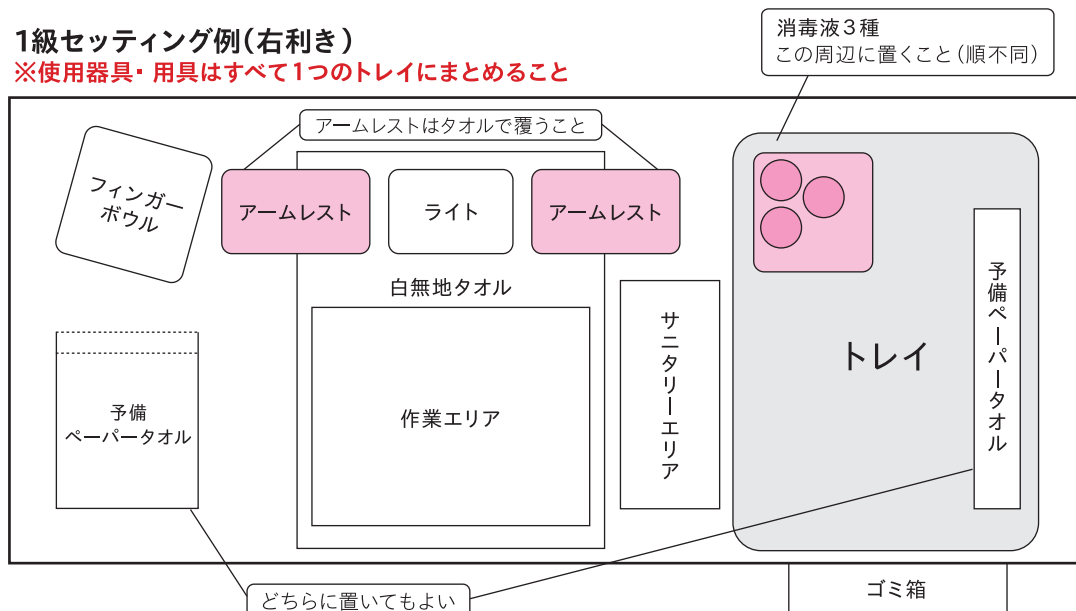
## セッティング例(右利き)

※使用器具・用具はすべて1つのトレイにまとめること



## 1級セッティング例(右利き)

※使用器具・用具はすべて1つのトレイにまとめること



- テーブルの中央に白無地タオルを敷き、利き手側にゴミ袋(ジッパー付ビニール袋)をセッティングすること。
- 3本の消毒液はトレイ内側周辺に置く。(順不同)
- アームレストは白無地タオルで覆うこと。
- 器具/材料は1つのトレイにのせ、利き手側にセッティングすること。
- 照明機器のセッティングはしないこと。
- 試験時間を管理するための時計は作業、及び衛生的に妨げのない場所に置くこと。
- 作業エリア/サニタリーエリアとして白無地ペーパータオルを敷くこと。(重ね敷きをしない)

○役割を理解し、適切に使い分けをすること。

\*作業エリア=作業を行うスペース

\*サニタリーエリア=器具/材料を置く衛生的なスペース

- ・作業エリアとサニタリーエリアは区別すること
- ・各工程終了時に新しいペーパータオルに交換すること(試験中も汚れた場合は適宜交換すること)

## 使用する器具 / 材料のセッティング、取り扱いについて

\*以下の事項が守られていない場合は減点となります。

★セッティングする全ての器具 / 材料は汚れていない衛生的なものとし、試験中も衛生的に取り扱うこと。

3級	2級	1級	使用する器具 / 材料
●	●	●	<b>手指消毒液</b> ※薬品名と濃度を記載(受験票に記載) 手指用、器具用、爪用の3つの容器をトレイの所定の位置にセッティング 手指用消毒液は、速乾性擦式消毒液または消毒用エタノール等を使用
●	●	●	<b>器具用消毒液</b> 手指用、器具用、爪用の3つの容器をトレイの所定の位置にセッティング 器具用消毒液は、消毒用エタノールを使用
●	●	●	<b>爪用消毒液</b> 手指用、器具用、爪用の3つの容器をトレイの所定の位置にセッティング 爪用消毒液と未硬化ジェル除去剤等が同じ容器の場合も、必ず消毒液の所定の位置にセッティング
●	●	●	<b>救急用具</b> 傷用消毒液、消毒液を塗布する綿棒、止血用絆創膏を1つのジッパー付きビニール袋にまとめ、救急用具と表記したラベルを貼る
●	●	●	<b>ワイブ類(ワイブ・スポンジ・ペーパー・コットンいずれも可)</b> 蓋付容器またはジッパー付きビニール袋に入れる ワイブ類とコットンを同じ容器に入れる場合は、容器に「ワイブ類」「コットン」の両方のラベルを貼る
●	●	●	<b>未硬化ジェル除去剤</b> <b>ベースジェル / カラージェル / トップジェル</b> ベースジェル / カラージェル / トップジェルは同一ブランドにすること ジェルの容器の形状は問わないが、ブランドの容器のまま使用すること 3級: マット赤   2級: パールホワイト   1級: ナチュラルスキンカラーとホワイト
●	●	●	<b>コットン(白無地)</b> 蓋付容器またはジッパー付きビニール袋に入れる ワイブ類とコットンを同じ容器に入れる場合は、容器に「ワイブ類」「コットン」の両方のラベルを貼る
○	○	●	<b>ウエットステリライザー</b> テーブルセッティングの時間内に準備すること
○	○	○	<b>ブラシクリーナー</b> トレイに戻す際は、蓋つきの場合は蓋をする
●	●	●	<b>スパチュラ</b> 爪楊枝の使用可。ただし使い捨てとし、皮膚や爪に触れる技術に使用しない 爪楊枝をトレイにセッティングする場合は、蓋付容器やジッパー付きビニール袋に入れる
	●	●	<b>シザー/クリッパー/チップカッター</b> ※3つのうち必要なもの
		●	<b>プッシャー</b> ネイルマシン・メタルプッシャーのみ可 ※ケアビット不可 ネイルマシンのアタッチメント用の小さなウエットステリライザーをセッティングしてもよい(ラベルを貼ること)
○	○	●	<b>キューティクルニッパー</b>
○	○	○	<b>ツイザー</b>
●	●	●	<b>ジェルブラシ</b>
●	●	●	<b>ジェルネイル用ライト</b>
●	●	●	<b>アームレスト(タオルでも可)</b> ※セッティング例を参照 アームレストはタオル(白無地)で覆うこと
●	●	●	<b>ファイル類(エメリーボード等) / バッファー/シャイナー</b> グリッドや形状に指定はないが、使用する箇所やジェルに適したグリッド、形状のものを使用する
●	●	●	<b>ウッズティック</b>
●	●	●	<b>ダスト用ブラシ</b>
●	●	●	<b>ペーパータオル(白無地)</b> ジッパー付きビニール袋に入れる。トレイの中、またはトレイの逆側(テーブルの上)にセッティングする 取り出すとき以外は密封する(一度取り出したペーパータオルは戻さない) 各工程の終了時には使用したすべてのペーパータオルを交換する 汚れを拭くためのペーパータオルはコットン容器、またはジッパー付きビニール袋のどちらかにセッティングする
●	●	●	<b>ゴミ袋(中身が見えるジッパー付きビニール袋)</b>
●	●	●	<b>ゴミ袋を固定するテープ</b>
●	●	●	<b>トレイ</b> ※器具 / 材料は1つのトレイにまとめること セッティングした容器などが倒れた場合でも溶剤がトレイから漏れないような素材、大きさ(深さ)のもの
●	●	●	<b>タオル(白無地)</b>
	●	●	<b>スカルプチュアジェル</b>
	●	●	<b>ネイルグルー</b>
	●	●	<b>ネイルチップ(事前の加工は不可)</b> ナチュラル
		●	<b>ネイルフォーム(事前の加工は不可)</b>
		●	<b>キューティクルリムーバー</b> キューティクルリムーバーの容器などが直接皮膚・爪に触れないこと
		●	<b>フィンガーボール</b> フィンガーボールのお湯はテーブルセッティング時間内に準備する
		●	<b>水 / お湯(ネイルケア用)</b> お湯(水)を入れた容器はテーブルにセッティングしてもよい、適宜温度調整等すること
		●	<b>ガーゼ(白無地)</b> ジッパー付きビニール袋に入れトレイにセッティングする、ペーパーガーゼを使用してもよい
○	○	○	<b>照射時間を管理するタイマー(時計類も含む)</b> 携帯電話などの通信機器は不可 作業エリア・サニタリーエリア以外の場所で、衛生的で試験の妨げにならないところに置く

**赤字・青字**の内容が守られていない場合は減点 ●がセッティングされていない場合は減点

※赤字のものは、内容を明記したラベルを貼る ※青字のものは、ウエットステリライザーにセッティングする  
※記載されていない器具 / 材料はなるべくセッティングしない ※●はセッティングするもの、○は必要に応じてセッティングするもの  
※試験中ラベルが見えにくい場合など試験官が確認することがあります

## 3級実技試験

受験対象	ジェルネイルの基礎知識および衛生について理解し習得している方。ネイル初心者、スクール生対象					
事前モデルチェック項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ジェルネイルを施すに適したネイルケアが施されていること</li> <li>②フリーエッジの長さは指定しないが、エッジが塗れる長さであること</li> <li>③ジェルやアクリル、ポリッシュが爪に残っていないこと</li> <li>④原則としてナチュラルネイルであること             <ul style="list-style-type: none"> <li>●爪の亀裂については、以下の範囲内のリペアのみ可</li> <li>※試験官が以下の範囲外と判断した場合、リペアが不適切と判断した場合は失格または減点</li> <li>●モデルの爪に合うように施したジェルコーティング、チップオーバーレイ、スカルプチュアは3本まで可</li> <li>・ジェルコーティング、チップオーバーレイ、スカルプチュアは試験で使用するジェルと同一ブランドのジェルで施しておくこと</li> <li>・使用するジェルの色はクリアのみ、ネイルチップの色はナチュラルのみとする</li> <li>●ネイルグルー、レジンを用いたリペアは本数を限定せず可</li> <li>・ラップ・アクリル等、ジェル以外の材料を用いたリペアは失格</li> <li>※モデルにリペア等を施している場合(10本がナチュラルネイルでない場合は、実技試験受付の際に申告すること</li> </ul> </li> </ul>					
試験内容	<table style="margin: auto; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;"> <b>テーブルセッティング</b>  <small>※モデルチェック</small>            -10分-         </td> <td style="text-align: center; padding: 0 10px;">→</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"> <b>プレパレーション</b>  <small>(両手)</small>            -10分-         </td> <td style="text-align: center; padding: 0 10px;">→</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"> <b>カラーコーティング</b>  <small>マット赤 10本(両手)</small>            -40分-         </td> </tr> </table>	<b>テーブルセッティング</b> <small>※モデルチェック</small> -10分-	→	<b>プレパレーション</b> <small>(両手)</small> -10分-	→	<b>カラーコーティング</b> <small>マット赤 10本(両手)</small> -40分-
<b>テーブルセッティング</b> <small>※モデルチェック</small> -10分-	→	<b>プレパレーション</b> <small>(両手)</small> -10分-	→	<b>カラーコーティング</b> <small>マット赤 10本(両手)</small> -40分-		
試験内容詳細/注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>※実技試験に使用する器具・材料を必ず持参すること</li> <li>※ネイルケアは事前に済ませておくこと</li> <li>※別紙 減点・失格事項、注意事項等を確認すること</li> </ul>					
チェックポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●試験要項に沿って技術全てが手順どおり衛生的に行われ、時間内に終了していること。</li> <li>●使用する器具・材料を正しく理解し、使用していること。</li> </ul>					
プレパレーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>●フリーエッジの削りあとが滑らかで、削り残しやダストが残っていないこと。(フリーエッジ裏も含む)</li> <li>●サンディング(エッチング)が適切であること。削りすぎ、削り残しがないこと。 (サイド・フリーエッジ・キューティクルライン含む)</li> <li>●キューティクルや指の皮膚を傷つけていないこと</li> <li>●ルーススキンやささくれが除去されていること</li> <li>●フリーエッジの長さや形のバランスが揃っていること</li> <li>●フリーエッジの形(スタイル)は自由。ただし、仕上がり10本の形は統一すること</li> </ul>					
アプリケーション カラーコーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>●皮膚(キューティクルライン、サイドなど)にジェルがついていないこと</li> <li>●キューティクルラインが空きすぎず、滑らかで、縮みや段差がないこと</li> <li>●サイドが適切にジェルで覆われ(空きすぎず)、滑らかで、縮みや段差がないこと</li> <li>●フリーエッジの先端がジェルで覆われていること。ただし、裏面に流れていないこと</li> <li>●表面に凹凸がなく滑らかであること</li> <li>●厚さが適切で均一であること</li> <li>●バブルやダストが入っていないこと</li> <li>●未硬化ジェルの除去が適切にできていること</li> <li>●カラーが適切に発色していて色ムラがないこと</li> <li>★10本の爪の長さ/形/厚さのバランスが揃っていること</li> <li>フリーエッジの長さは指定しないが、エッジが塗れる長さであること</li> <li>フリーエッジの形(スタイル)は自由</li> </ul>					

## テーブルセッティング(10分)

- ① 利き手側にゴミ袋をセッティングする。
  - ・ジッパー付きビニール袋をゴミ袋としてテーブルにテープで貼って固定する
- ② 器具用消毒液とペーパータオルを用いて、テーブルを消毒する。
  - ・使用したペーパータオルはセッティングしたゴミ袋に捨てる
- ③ 試験で使用する器具・材料全てをセッティングする。
  - ・セッティング場所はセッティング例を参照
  - ・時間外にセッティングを行った場合は減点  
(セッティング時間外に鞆から器具・材料を取り出す場合は試験官の許可を得てから行って下さい)
  - ・テーブルセッティング時間内にジェルネイル用ライトの電源、作動を確認する

## プレパレーション(10分)

- ① 手指用消毒液を含ませたコットン(白無地)を用いて、受験者の手指、次にモデルの手指を消毒する。
  - ・受験者、モデルそれぞれに別のコットンを使用
- ② 10本の爪の表面をサンディング(エッチング)し、手指・爪についたダストを除去する。
  - ・サンディング不要のジェルを使用する場合も、グリッドの細かいパuffer類で爪表面のツヤを消す程度にサンディングを行う
  - ・使用するジェルに適したパuffer類(グリッド)でサンディングする
- ③ 使用した器具・材料を全て片付け、作業エリア・サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。
  - ・使用したペーパータオルはすべて捨てる

## 審査

アプリケーション  
カラーコーティング  
(40分)

- ① 10本の爪の表面を爪用消毒液で消毒する。
- ② モデルの爪左右10本をベースコーティング、カラーコーティング、トップコーティングし仕上げる。
 カラーは両手赤(マット)とする。
  - ・ベースジェル、トップジェルはクリア、カラージェルはマット赤を使用する
  - ・ベースコーティング、トップコーティングはそれぞれ1コート、カラーコーティングは2コート行う  
(エッジもコーティングする)
  - ・施術する手指の順番に指定はないが、ライトに照射する時間を考慮した上、効率的な施術を行う
  - ・使用するジェルが完全に硬化する時間ライトに照射する
  - ・未硬化ジェルの生じないジェルを使用した場合は、未硬化ジェルのふき取りを行わなくてよい

## 審査

実技試験終了



## 2級実技試験

受験対象	ジェルネイルカラーリングおよび、アーティフィシャルネイルの基礎知識と技術を習得し、サロンワークを目指す方							
事前モデルチェック項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ジェルネイルを施すに適したネイルケアが施されていること</li> <li>②ジェルやアクリル、ポリッシュが爪に残っていないこと</li> <li>③フリーエッジが、手のひら側から見て指先(ハイポニキウムを含む)から3mm程度以上あること アーティフィシャルネイルを施す爪は3mm以下で可、試験開始前までに1mm以下に削っておいてもよい※プレパレーション終了までには1mm以下に削ること</li> <li>④原則としてナチュラルネイルであること             <ul style="list-style-type: none"> <li>●爪の亀裂については、以下の範囲内のリペアのみ可</li> <li>※試験官が以下の範囲外と判断した場合、リペアが不適切と判断した場合は失格または減点</li> <li>●モデルの爪に合うように施したジェルコーティング、チップオーバーレイ、スカルプチュアは3本まで可                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェルコーティング、チップオーバーレイ、スカルプチュアは試験で使用するジェルと同一ブランドのジェルで施しておくこと</li> <li>・使用するジェルの色はクリアのみ、ネイルチップの色はナチュラルのみとする</li> </ul> </li> <li>●ネイルグルー、レジンをういたリペアは本数を限定せず可                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラップ・アクリル等、ジェル以外の材料を用いたリペアは失格</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>※モデルにリペア等を施している場合(10本がナチュラルネイルでない場合は)、実技試験受付の際に申告すること</p>							
試験内容	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-right: 1px dashed black; padding: 5px;">                     テーブルセッティング ※モデルチェック -10分-                 </td> <td style="border-right: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">➔</td> <td style="border-right: 1px dashed black; padding: 5px;">                     プレパレーション (両手) -10分-                 </td> <td style="border-right: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">➔</td> <td style="border-right: 1px dashed black; padding: 5px;">                     チップオーバーレイ 2本 (右手:指の指定なし) -25分-                 </td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">➔</td> <td style="padding: 5px;">                     カラーコーティング パールホワイト 10本 (両手) -35分-                 </td> </tr> </table>	テーブルセッティング ※モデルチェック -10分-	➔	プレパレーション (両手) -10分-	➔	チップオーバーレイ 2本 (右手:指の指定なし) -25分-	➔	カラーコーティング パールホワイト 10本 (両手) -35分-
テーブルセッティング ※モデルチェック -10分-	➔	プレパレーション (両手) -10分-	➔	チップオーバーレイ 2本 (右手:指の指定なし) -25分-	➔	カラーコーティング パールホワイト 10本 (両手) -35分-		
試験内容詳細/注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>※実技試験に使用する器具・材料を必ず持参すること</li> <li>※ネイルケアは事前に済ませておくこと</li> <li>※別紙 減点・失格事項、注意事項等を確認すること</li> </ul>							

チェックポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●試験要項に沿って技術全てが手順どおり衛生的に行われ、時間内に終了していること。</li> <li>●使用する器具・材料を正しく理解し、使用していること。</li> </ul>
プレパレーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>●フリーエッジの削りあとが滑らかで、削り残しやダストが残っていないこと(フリーエッジ裏も含む)</li> <li>●サンディング(エッチング)が適切であること 削りすぎ、削り残しが無いこと(サイド・フリーエッジ・キューティクルライン含む)</li> <li>●キューティクルや指の皮膚を傷つけていないこと</li> <li>●ルーススキンやささくれが除去されていること</li> <li>●フリーエッジの長さや形のバランスが揃っていること</li> <li>●フリーエッジの形(スタイル)は自由。ただし、仕上がりが10本の形は統一すること</li> </ul>
アプリケーション① チップオーバーレイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ネイルチップがナチュラルネイルに合っていて、爪の1/2以上を覆っていないこと</li> <li>●ネイルチップとナチュラルネイルの間に空気やダストが入っていないこと</li> <li>●ネイルチップとナチュラルネイルのブレンディングが適切に施され、段差がなく、ナチュラルネイルを削り過ぎていないこと</li> <li>●ネイルチップの裏やサイドにグルーやダスト、削り残しのバリなどが残っていないこと</li> <li>●チップオーバーレイのサイド(ストレスポイント)が適切に覆われ、適切な厚さ(ハイポイントの位置)に仕上げていること</li> <li>●皮膚(キューティクルライン、サイドなど)にジェルがついていないこと</li> <li>●キューティクルラインが空きすぎず、滑らかで、縮みや段差がないこと</li> <li>●皮膚を傷つけていないこと</li> <li>●サイドが適切にジェルで覆われ(空きすぎず)、滑らかで、縮みや段差がないこと</li> <li>●フリーエッジの先端がジェルで覆われていること。ただし、裏面に流れていないこと</li> <li>●表面に凹凸がなく滑らかであること</li> <li>●厚さが適切で均一であること</li> <li>●バブルやダストが入っていないこと</li> <li>●未硬化ジェルの除去が適切にできていること</li> </ul>
アプリケーション② カラーコーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>●皮膚(キューティクルライン、サイドなど)にジェルがついていないこと</li> <li>●キューティクルラインが空きすぎず、滑らかで、縮みや段差がないこと</li> <li>●サイドが適切にジェルで覆われ(空きすぎず)、滑らかで、縮みや段差がないこと</li> <li>●フリーエッジの先端がジェルで覆われていること。ただし、裏面に流れていないこと</li> <li>●表面に凹凸がなく滑らかであること</li> <li>●厚みが適度で均一であること</li> <li>●バブルやダストが入っていないこと</li> <li>●未硬化ジェルの除去が適切にできていること</li> <li>●カラーが適切に発色していて色ムラがないこと</li> <li>●パールホワイトの色が薄すぎないこと、刷毛跡が残っていないこと</li> <li>★10本の爪の長さ/厚さのバランスが揃っていること 長さは手のひら側から見て3mm程度以上あること フリーエッジの形(スタイル)は自由</li> </ul>



## テーブルセッティング(10分)

- ① 利き手側にゴミ袋をセッティングする。
  - ・ジッパー付きビニール袋をゴミ袋としてテーブルにテープで貼って固定する
- ② 器具用消毒液とペーパータオルを用いて、テーブルを消毒する。
  - ・使用したペーパータオルはセッティングしたゴミ袋に捨てる
- ③ 試験で使用する器具・材料全てをセッティングする。
  - ・セッティング場所はセッティング例を参照
  - ・時間外にセッティングを行った場合は減点  
(セッティング時間外に鞆から器具・材料を取り出す場合は試験官の許可を得てから行ってください)
  - ・テーブルセッティング時間内にジェルネイル用ライトの電源、作動を確認する

## プレパレーション(10分)

- ① 手指用消毒液を含ませたコットン(白無地)を用いて、受験者の手指、次にモデルの手指を消毒する。
  - ・受験者、モデルそれぞれに別のコットンを使用
- ② 10本の爪の表面をサンディング(エッチング)し、手指・爪についたダストを除去する。
  - ・サンディング不要のジェルを使用する場合も、グリッドの細かいパuffer類で爪表面のツヤを消す程度にサンディングを行う
  - ・使用するジェルに適したパuffer類(グリッド)でサンディングする
- ③ 使用した器具・材料を全て片付け、作業エリア・サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。
  - ・使用したペーパータオルはすべて捨てる

## 審査

アプリケーション①  
(25分)

- ① 右手にチップオーバーレイ2本のアプリケーションを行い仕上げる。
 

【チップオーバーレイの手順】

  - (1) チップオーバーレイを施す爪を爪用消毒液で消毒する。
  - (2) ネイルグルーを用いてネイルチップを爪に接着する。
    - ・ネイルチップの色はナチュラルに限る。ウェルの形状は問わないが、爪にあったものを使用する
    - ・ネイルグルーの種類、容器の形状は問わない
    - ・ネイルチップで爪の1/2以上は覆わない
    - ・ネイルチップを加工する場合は試験中に行う(コンタクトエリア、サイドを削るなど)
  - (3) ネイルチップの長さをチップカッター、シザー、クリッパーのいずれかを用いてカットし、ファイル類で先端の形と長さを整える。
  - (4) ネイルチップとナチュラルネイルの段差がないようブレンディングし、表面を滑らかにする。ダストを除去した後、爪用消毒液で消毒する。
  - (5) スカルプチュアジェル(クリア)を用いてオーバーレイを施す。
    - ・使用するジェルが硬化する時間ライトに照射し、未硬化ジェルを拭きとり仕上げる
    - ・未硬化ジェルの生じないジェルを使用した場合は、未硬化ジェルのふき取りを行わなくてよい
- ② 使用した器具・材料を全て片付け、作業エリア・サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。
  - ・使用したペーパータオルはすべて捨てる

## 審査

アプリケーション②  
カラーコーティング  
(35分)

- ① アーティフィシャルネイルを施した爪をカラーコーティングできる状態にし、爪の表面を爪用消毒液で消毒する。
- ② モデルの爪左右10本をベースコーティング、カラーコーティング、トップコーティングし仕上げる。カラーは両手パールホワイトとする。
  - ・ベースジェル、トップジェルはクリア、カラージェルはパールホワイトを使用する
  - ・ベースコーティング、トップコーティングはそれぞれ1コート、カラーコーティングは2コート行う(エッジもコーティングする)
  - ・施術する手指の順番に指定はないが、ライトに照射する時間を考慮した上、効率的な施術を行う
  - ・使用するジェルが完全に硬化する時間ライトに照射する
  - ・未硬化ジェルの生じないジェルを使用した場合は、未硬化ジェルのふき取りを行わなくてよい

## 審査

実技試験終了

# 1級実技試験

受験対象	ジェルネイルスペシャリストとして高度な技術と知識を習得しサロンワーク、および指導者を目指す方				
事前モデルチェック項目	<p>①ジェルネイルを施すに適したネイルケアが施されていること</p> <p>②フリーエッジの長さは指定しないが、エッジが塗れる長さであること</p> <p>③ジェルやアクリル、ポリッシュが爪に残っていないこと</p> <p>④原則としてナチュラルネイルであること</p> <p>●爪の亀裂については、以下の範囲内のリペアのみ可</p> <p>※試験官が以下の範囲外と判断した場合、リペアが不適切と判断した場合は失格または減点</p> <p>●モデルの爪に合うように施したジェルコーティング、チップオーバーレイ、スカルプチュアは3本まで可</p> <p>・ジェルコーティング、チップオーバーレイ、スカルプチュアは試験で使用するジェルと同一ブランドのジェルで施しておくこと</p> <p>・使用するジェルの色はクリアのみ、ネイルチップの色はナチュラルのみとする</p> <p>●ネイルグルー、レジンをういたりリペアは本数を限定せず可</p> <p>・ラップ・アクリル等、ジェル以外の材料を用いたりリペアは失格</p> <p>※モデルにリペア等を施している場合(10本がナチュラルネイルでない場合は、実技試験受付の際に申告すること)</p>				
試験内容	<table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 25%;"> <b>テーブルセッティング</b> (事前モデルチェック)  -10分-             </td> <td style="text-align: center; width: 25%; border-left: 1px dashed black;"> <b>ネイルケア</b> プレパレーション (両手)  -20分-             </td> <td style="text-align: center; width: 25%; border-left: 1px dashed black;"> <b>アプリケーション①②</b> チップオーバーレイ 1本 スカルプチュア 2本 (右手:指の指定なし) -35分-             </td> <td style="text-align: center; width: 25%; border-left: 1px dashed black;"> <b>カラーコーティング</b> フレンチネイル (両手)  -50分-             </td> </tr> </table>	<b>テーブルセッティング</b> (事前モデルチェック)  -10分-	<b>ネイルケア</b> プレパレーション (両手)  -20分-	<b>アプリケーション①②</b> チップオーバーレイ 1本 スカルプチュア 2本 (右手:指の指定なし) -35分-	<b>カラーコーティング</b> フレンチネイル (両手)  -50分-
<b>テーブルセッティング</b> (事前モデルチェック)  -10分-	<b>ネイルケア</b> プレパレーション (両手)  -20分-	<b>アプリケーション①②</b> チップオーバーレイ 1本 スカルプチュア 2本 (右手:指の指定なし) -35分-	<b>カラーコーティング</b> フレンチネイル (両手)  -50分-		
試験内容詳細/注意事項	<p>※実技試験に使用する器具・材料を必ず持参すること</p> <p>※別紙 減点・失格事項、注意事項等を確認すること</p>				
チェックポイント	<p>●試験要項に沿って技術全てが手順どおり衛生的に行われ、時間内に終了していること。</p> <p>●使用する器具・材料を正しく理解し、使用していること。</p>				
ネイルケア	<p>●フリーエッジの削りあとが滑らかで、削り残しやダストが残っていないこと(フリーエッジ裏も含む)</p> <p>●サンディング(エッチング)が適切であること。削りすぎ、削り残しが無いこと。 (サイド・フリーエッジ・キューティクルライン含む)</p> <p>●キューティクルや指の皮膚を傷つけていないこと</p> <p>●甘皮が起きていること</p> <p>●ルーススキンが除去されていること</p> <p>●ささくれや甘皮の切り残し、切り過ぎがないこと</p> <p>●フリーエッジの長さや形がバランス良く揃っていること</p> <p>●フリーエッジの形(スタイル)は自由。ただし、仕上がり10本の形は統一すること</p>				
アプリケーション①、②	<p>●ネイルチップがナチュラルネイルに合っていて、爪の1/2以上を覆っていないこと</p> <p>●ネイルチップとナチュラルネイルの間に空気やダストが入っていないこと</p> <p>●ネイルチップとナチュラルネイルのブレンディングが適切に施され、段差がなく、ナチュラルネイルを削り過ぎていないこと</p> <p>●ネイルチップの裏やサイドにグルーやダスト、削り残しのバリなどが残っていないこと</p> <p>●チップオーバーレイのサイド(ストレスポイント)が適切に覆われ、適切な厚さ(ハイポイントの位置)に仕上げていること</p> <p>●スカルプチュアのサイド(ストレスポイント)が適切に覆われ、適切な厚さ(ハイポイントの位置)に仕上げていること</p> <p>●皮膚(キューティクルライン、サイドなど)にジェルがついていないこと</p> <p>●キューティクルラインが空きすぎず、滑らかで、縮みや段差がないこと</p> <p>●皮膚を傷つけていないこと</p> <p>●サイドが適切にジェルで覆われ(空きすぎず)、滑らかで、縮みや段差がないこと</p> <p>●フリーエッジの先端がジェルで覆われていること。ただし、裏面に流れていないこと</p> <p>●表面に凹凸がなく滑らかであること</p> <p>●厚さが適切で均一であること</p> <p>●バブルやダストが入っていないこと</p> <p>●未硬化ジェルの除去が適切にできていること</p>				
アプリケーション③ カラーコーティング	<p>●皮膚(キューティクルライン、サイドなど)にジェルがついていないこと</p> <p>●キューティクルラインが空きすぎず、滑らかで、縮みや段差がないこと</p> <p>●サイドが適切にジェルで覆われ(空きすぎず)、滑らかで、縮みや段差がないこと</p> <p>●フリーエッジの先端がジェルで覆われていること。ただし、裏面に流れていないこと</p> <p>●表面に凹凸がなく滑らかであること</p> <p>●厚さが適切で均一であること</p> <p>●バブルやダストが入っていないこと</p> <p>●未硬化ジェルの除去が適切にできていること</p> <p>●カラーが適切に発色して色ムラがないこと</p> <p>●フレンチネイルのピンクとホワイトの色が薄すぎないこと、刷毛跡が残っていないこと</p> <p>●フレンチラインのカーブがモデルの爪に合った深さで、滑らかで鮮明に10本均一に仕上げていること</p> <p>●フレンチネイルのピンクとホワイトが3:1~4:1程度の割合でバランスよく10本均一に仕上げていること</p> <p>●フレンチネイルのピンクとホワイトの色ムラがなく、適切な厚みで均一に仕上げていること</p> <p>●イエローラインをカラーで覆うこと</p> <p>★10本の爪の長さ/形/厚さのバランスが揃っていること。長さは手のひら側から見て3mm程度以上あること</p> <p>フリーエッジの形(スタイル)は自由。</p>				

## テーブルセッティング(10分)

- ① 利き手側にゴミ袋をセッティングする。
  - ・ジッパー付きビニール袋をゴミ袋としてテーブルにテープで貼って固定する
- ② 器具用消毒液とペーパータオルを用いて、テーブルを消毒する。
  - ・使用したペーパータオルはセッティングしたゴミ袋に捨てる
- ③ 試験で使用する器具・材料全てをセッティングする。
  - ・セッティング場所はセッティング例を参照
  - ・時間外にセッティングを行った場合は減点  
(セッティング時間外に鞆から器具・材料を取り出す場合は試験官の許可を得てから行ってください)
  - ・テーブルセッティング時間内にジェルネイル用ライト、マシンの電源、作動を確認する
  - ・ウェットステリライザーのセッティングはテーブルセッティング時間内に行う
  - ・フィンガーボールのお湯はテーブルセッティング時間内に準備し、適宜温度調整を行う
  - ・お湯(水)を入れた容器はテーブルにセッティングしても良い

ネイルケア・プレパレーション  
(20分)

- ① 手指用消毒液を含ませた白無地コットンを用いて、自分の手指、次にモデルの手指を消毒する。
  - ・受験者、モデルそれぞれに別のコットンを使用
- ② ファイル類(エメリーボード等)を用いて、フリーエッジの長さとしを整える。
  - ・フリーエッジの形は自由。ただし、仕上がりの長さとしは7本をバランスよく揃える
  - ・アーティフィシャルネイルを施す爪は行わなくてよい
- ③ キューティクルリムーバーを塗布し、フィンガーボールに入れる。
- ④ プッシャーを用いて、キューティクルをプッシュアップする。
  - ・ネイルマシンのプッシャーまたはメタルプッシャーを使用
- ⑤ ガーゼとキューティクルニッパーを用いて、ルーススキン、ささくれ、爪の表面、フリーエッジの裏の汚れを除去する。
- ⑥ 10本の爪の表面をサンディング(エッチング)し、手指・爪についたダストを除去する。
  - ・サンディング不要のジェルを使用する場合も、グリッドの細かいバッファー類で爪表面のツヤを消す程度にサンディングを行う
  - ・使用するジェルに適したバッファー類(グリッド)でサンディングする
- ⑦ 使用した器具・材料を全て片付け、作業エリア・サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。
  - ・使用したペーパータオルはすべて捨てる

## 審査

アプリケーション①  
(15分)

- ① 右手にチップオーバーレイ1本、スカルプチュア2本のアプリケーションを行う。  
(施術順は自由)
- 【チップオーバーレイの手順】
- (1) 10本の爪の表面を爪用消毒液で消毒する。
  - (2) ネイルグラーを用いてネイルチップを爪に接着する。
    - ・ネイルチップの色はナチュラルに限る。ウェルの形状は問わないが、爪にあったものを使用する
    - ・ネイルグラーの種類、容器の形状は問わない
    - ・ネイルチップで爪の1/2以上は覆わない
    - ・ネイルチップを加工する場合は試験中に行う(コンタクトエリア、サイドを削るなど)
  - (3) ネイルチップの長さをチップカッター、シザー、クリッパーのいずれかを用いてカットし、ファイル類で先端の形と長さを整える。
  - (4) ネイルチップとナチュラルネイルの段差がないようブレンディングし、表面を滑らかにする。  
ダストを除去した後、爪用消毒液で消毒する。
  - (5) スカルプチュアジェル(クリア)を用いてオーバーレイを施し未硬化ジェルを拭き取る。
- 【スカルプチュアの手順】
- (1) サンディングし、ダストを除去した後、爪用消毒液で消毒する。
  - (2) ネイルフォームを装着する。
  - (3) スカルプチュアジェル(クリア)を用いてスカルプチュアを施す。
  - (4) ジェル硬化後、フォームを外し未硬化ジェルを拭き取る。

## 審査

アプリケーション②  
(10分)

- ① チップオーバーレイ・スカルプチュアの長さ、形、表面をファイル類を用いて整え、ダストを除去する。
  - ・チップオーバーレイ、スカルプチュアは他の爪の長さ・形のバランスを揃えるように仕上げる
- ② トップコーティングをし、未硬化ジェルを拭きとる。
  - ・未硬化ジェルの生じないジェルを使用した場合は、未硬化ジェルのふき取りを行わなくてよい
- ③ 使用した器具・材料を全て片付け、作業エリア・サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。
  - ・使用したペーパータオルはすべて捨てる

## 審査

アプリケーション③  
カラーコーティング  
(50分)

- ① アーティフィシャルネイルを施した爪をカラーコーティングできる状態にし、爪の表面を爪用消毒液で消毒する。
- ② モデルの爪左右10本をベースコーティング、カラーコーティング、トップコーティングし仕上げる。  
カラーはナチュラルスキンカラー(マット)にフレンチネイルとする。
  - ・必要に応じ、爪の表面のサンディングを行うこと
  - ・ベースジェル、トップジェルはクリア、フレンチネイルはナチュラルスキンカラー、ホワイトを使用する
  - ・ベースコーティング、トップコーティングはそれぞれ1コート、カラーコーティングは2コート行う  
(エッジもコーティングする)
  - ・施術する手指の順番に指定はないが、ライトに照射する時間を考慮した上、効率的な施術を行う
  - ・使用するジェルが完全に硬化する時間ライトに照射する
  - ・フレンチネイルのフレンチラインは、爪に合ったカーブであれば深さは問わない
  - ・フレンチネイルのナチュラルスキンカラーとホワイトは3:1~4:1程度のバランスに仕上げる
  - ・未硬化ジェルの生じないジェルを使用した場合は、未硬化ジェルのふき取りを行わなくてよい

## 審査

# ジェルネイル技能検定試験 申込方法と受験までの流れ

## 個人(一般)でお申し込みの場合

①I-NAIL-Aウェブサイト「<https://i-nail-a.org/>」から  
技能検定試験申込フォームに必要事項を入力し送信してください。

(受付完了メールが返信されます。)

②受付期間終了後1週間以内にI-NAIL-A事務局より受験料の支払サイトをメールにて返信いたします。

\*受付終了日から10日を過ぎてもメールが届かない場合は、I-NAIL-A事務局までお問い合わせください。

③受験料のお支払い:支払サイトより期日までにお支払いください。

期日までにお支払いが無かった場合は受験できませんので予めご了承ください。

なお、受付終了日から2週間を経過した後のお問い合わせにつきましては、  
受験料のお支払いが出来ない場合もあります。この場合受験ができませんのでご注意ください。

④受付完了:試験実施日10日前頃に受験票と当日のご案内を郵送にて送付いたします。

※試験の受付時間、試験会場につきましては、受験票に記載してのご案内となります。

当日のタイムテーブルは、原則として以下となります。

### 受付

受験票に記載された受付時間内に、モデル同伴で受付を行ってください。

モデルの手に受験番号の記載されたシール等を貼付してください。

2級、3級受験者はアーティフィシャルネイルを施す爪を申告して下さい。

受付開始時間前の受付および会場への入場はできません。

### 実技試験

学科試験免除者は実技試験終了後、退室となります。

実技試験終了後、会場内でネイル施術行為はできません。

また、会場近隣の施設(飲食店なども含む)でのネイル施術行為も禁止です。

### 学科試験

モデルの待機場所はありません。モデルは実技試験終了後、会場から退室となります。

### 結果送付

検定試験実施日から1ヶ月程度後I-NAIL-A事務局より以下のものが送られます。

可否通知 / 実技試験結果通知(実技試験受験者のみ)の認定証。(認定者のみ)

※用紙タイプ(A4サイズ)※カードタイプ認定証は希望者にのみ発行いたします。(有料)

団体(加盟サロン/スクール)でお申し込みの場合。

加盟団体の指示に従って下さい。(送付物は全て団体宛に送付されます。)

●試験日程(受付期間)、検定対策セミナー日程はI-NAIL-Aウェブサイトでご確認下さい。

●試験要項はI-NAIL-AウェブサイトからPDFファイルでダウンロードできます。

※PDFファイルをダウンロード(プリントアウト)できない場合は、I-NAIL-A事務局までお問い合わせ下さい。

●参考テキスト「ネイル・プロフェッショナル」「ネイル・プロフェッショナルジェルネイル編」「検定試験対応例題集」は、I-NAIL-Aウェブサイトから購入できます。

●認定証(A4サイズ・用紙タイプ)の再発行、カードタイプ認定証のお申込みは、I-NAIL-Aウェブサイト「検定試験認定証再発行」の申し込みフォームよりお申し込みください。

### 3級の実技試験免除制度について

I-NAIL-A認定シニアインストラクターより実技試験合格認定を受けた場合は、3級の実技試験が免除となり、学科試験のみの受験でライセンスを取得することができます。

実技試験免除制度についての詳細につきましては、I-NAIL-Aウェブサイトをご参照ください。

\*試験内容および可否に関するお問合せは、いかなる場合もお答えできません。

\*技能検定試験申込後の申込内容(日程等)の変更、返金はいかなる場合もできません。